

あさひ便り

あさひ福祉作業所の 39 年

NPO 法人あさひ・あさひ福祉作業所 島 武代

北杜市（旧北巨摩郡）高根町北割の桑畑を開墾して、知的障がいのある 2 名の青年と私共夫婦で昭和 52 年 12 月に立ち上げました。

夫は日本福祉大学卒、私は東京都立高等保母学院卒で東京都民生局に勤務し、その後山梨県職員となり、福祉施設、福祉事務所の勤務を経て、夫 34 歳で退職し、1 年後私も退職しあさひ福祉作業所を作りました。

夫は高根町の農家の出で、農業が大好きな人です。私は土に触れる事、ましてミミズなどみれば悲鳴をあげるなど農業は苦手でした。

開所当時は、障がいのある青年の働く場は少なく、夫は自身の描く作業所の運営に邁進しました。

障がい者が真に社会的にも、経済的にも、精神的にも自立できるように、ハンディに負けることなくたくましく前向きに生活できるように、、、との思いがあさひ福祉作業所の根底にあります。

作業所は養豚（母豚 7 頭で肉豚で出荷）、平飼養鶏（産卵鶏 3000 羽）、椎茸原木栽培を手がけ、その後工場（合板カット・プレス加工の箱詰め）の作業が加わりました。

私共夫婦と指導員 1 名、彼ら青年 10 名になり、日々作業に明け暮れてました。

町内で薬局を営んでいる夫の弟に、“兄さん、奴らを使って儲けているな”と

お客から陰口をたたかれることもありました。其の頃、障がい者が町内で暮らすことは、珍しいことで、ほとんどの人は福祉村と呼ばれる大規模な施設で暮らしておりましたから、疑心暗鬼を生じたのでしょう、、、

私たちは、with の精神で苦楽を共に彼らと歩んできました。職業安定所をとうし雇用契約を結び、雇用保険にも入っていました（最低賃金除外申請はうけました）。働ける時に働き、障害者年金は将来のために貯金をしようね、、、と彼らに話し、よく働きました。

あさひ福祉作業所にとって楽しみの一つは、ワークキャンプを受け入れることです。受け入れの準備は大変なのですが、大学の学



生・公民館活動の子供たちを迎え、若々しい活気あふれる作業になるのです。

また、保育園の遠足の場所、小学校の社会見学、中学校の職場体験等地域との関わりがあること、また地域の方々との日常的な関わり、支えがあって彼らが生き生きと生活しています

平成3年画期的なことがおこりました。労働省の障がい者多数雇用制度の寄宿舍建設助成制度の対象になりました。建設費の60%の助成を受け、残りは国民金融公庫の融資で平成5年12月待望の寄宿舍が出来ました。

経営状態は平成10年頃から下降線になり(日本全体が工場を海外移転に拍車がかかります)、工場部門は閉鎖になり、指導員も退職し、農業と畜産、それに6次産業として加工食品にとりくみました(食品加工にはパート1名を雇用)。

あさひ福祉作業所は、開所当時より福祉としての甘えでは長続きしない、安心安全なものを提供することを心がけてきました。

養豚は生協の福祉版でもある東京のぐるうぷはこびやにおろしつつ、鶏卵もぐるうぷはこびやと自然食品店におろしています。

田んぼも有機無農薬に徹し、米は自家消費、もちは販売しております。

<夫が亡くなり>

ところが平成20年、夫が末期の肺がんになり、8か月後に亡くなりました。

残された妻の私と彼ら10名は、あさひを継続することにしましたが、経営は厳しく、その様な中、長年支えてくださってた富士聖ヨハネ学園の園長のご尽力で、生活部門だけでも公的援助をとのことでNPO法人をとり、グループホームを立ち上げました。(夫がなくなる半年まえに寄宿舍の返済が終わり、グループホームに引き継がれました)

夫の入院中は、近隣の方々が交代であさひに泊まり込んでくださり、かれらの支えになってくださいました。地域の方の支えがあり、現在のあさひがあります。

<社会貢献支援財団より社会貢献者表彰を受けました>

あさひ福祉作業所の彼らは、一人一人が力を出しきり、それぞれの作業に達成感とプライドをもっております。そこにあさひの運営が成り立っているのです。またボランティアの方々が経営の一翼を担ってくださるほどスタッフとしての位置づけになっております。

現在は、指導員1名と彼ら1名の雇用保険しか払えず、9名の彼らには僅かな賃金しか払えません。しかし10年まえに一生懸命働き、その時蓄えた障害者年金が、現在の生活を支えています。例えば年1回2泊3日の旅行とか、家電製品の購入とかに使っています。

現在、あさひ福祉作業所では、養豚は夫が亡くなった1年後に廃業し、平飼い養鶏、椎茸原木栽培、国産原料の加工食品の製造、有機無農薬栽培の米と餅と味噌の製造、敷地内にソーラーパネルを設置し売電と周辺でソーラーパネルを設置した場所の下草刈りや雪かきなどの管理を請け負って収入を得ています。厳しい作業ですが、彼らがプライドを持って働ける場が評価されたことは、何よりうれしいことです。また長年支えてくださったボランティア

スタッフの方々には心より感謝しております。

表彰式は、昨年11月に東京であり、彼ら10名とスタッフ全員で出席してきました。全国49の団体、個人の表彰があり、会場に大型スクリーンで紹介があり、それぞれの活動が把握でき素晴らしい感動のある式典でした。

因みに、社会貢献支援財団は今年度も募集をしております。

2月28日の山日新聞に募集要項が載り、自薦・他薦で4月末が締め切りです。

今年は間に合いませんが、毎年募集をしております。

副賞も素晴らしいですから、ぜひ応募をおすすめします。

武力に頼らない平和を

日本カトリック司教協議会は、今こそ武力によらない平和を一安全保障関連法の施行にあたって一と題するメッセージを発表しました。

「武力に頼らず、相互の信頼に基づく平和」を祈り、求めるよう訴えました。カトリック教会は、特定の政治的立場にはないが、「人間のいのちと尊厳に関する問題」に対して沈黙はできないため、司教団として発言すると述べています。

「平和主義を国是」とする日本国憲法についても、司教団が同憲法の「不戦の理念を支持し尊重するのは当然のこと」だと主張。政教分離は「政治と宗教の分離」ではなく、「国家と教団の分離」を意味し、特定の宗教団体が国家と権力支配・被支配の関係に入ることを禁じているのです。

安全保障関連法が「国際的緊張」を高め、「際限のない軍拡競争」を招くおそれがあります。その上で、「わたしたちは今、本当に大きな時代の岐路」に立っており、「かつての過ちを再び繰り返すことのないように、わたしたち一人ひとりがこの時代を生きる一人の人間として、またキリスト者として、今何を選び行動すべきかを真剣に考えていきましょう」と呼び掛けています。

全文はカトリック中央協議会のウェブサイトで公開しています。

文責 島武代

あさひ交流会（お花見）のご報告

今年、お花見日和で穏やかに参加者の皆様とともに楽しむことができました。隣接するぶーっこ広場も利用することができ、薪割りコンテスト等も無事にできました。

あさひ交流会 プログラム
AM10:00~14:00

- ☆さくら味く道のスタンプラリー…10:00
- ☆代表挨拶 島 武代…10:30
- ☆利用者・スタッフ・ボランティア自己紹介…10:40
- ☆ぶーっこ広場・・・岡本 謙…10:50
- ☆ステージプログラム…11:00
 - 語り 金太郎の母・・・小沢 治子
 - 語り 外 郎 亮・・・小村 香枝
 - ギター演奏・・・米川 謙
 - 薪割りコンテスト・・・徳田 真木、牧本 拓也
- ☆合 唱・・・吉村&テレサ合唱隊…13:15
- ☆ビンゴ大会…13:25
- ☆開会の挨拶 NPOあさひ理事 米川 謙
あさひテレサホーム
新自治会長 笹生 宏一



薪割りコンテスト風景



田中よし子さん



峯崎由美さん



佐藤恵美子さん



お飲み物はいかがですか？新自治会長の笹生です。



吉村&テレサ合唱・合奏楽団



フリーマーケット

北杜市『あさひ福祉作業所』を訪ねて

長澤 英雄

あさひ福祉作業所に4月23日から25日の3日間お邪魔しました長澤です。山梨県北杜市は、八ヶ岳・南アルプス・富士山を一望でき最高のロケーションです。

3月末で会社を退職し、次のステップとして自給自足の生活を夢見てその準備として農業・養鶏を勉強したいと考えていたところ、ひょんなことから岡本さん知り合いになりそれならば一度あさひ福祉作業所に来なさいと紹介されました。島さん夫婦の歴史から現在の状況も含め熱く語っている姿をみて一度行かなくてはと思いを強くしました。

但し、今まで経験ないことから正直「大丈夫かな？」とっていました。

初日は、やはり言葉の理解ができずただ頷くことで誤魔化しながら対応していたように思います。一緒に作業をしたり、食事をしたりしている中で徐々に私のことも認めてくれたのでしょう、私に言葉をかけてくれるように感じました。私もそれまで三拍ぐらい考えてからの応答をしていましたが素直に言葉が出るようになりました。スタッフの皆さんの自然な接し方を見ていて自分を見直すことができたおかげだと思えます。

養鶏の勉強ですが、規模としては小さいほうと聞いてきましたが、卵の収集・エサやり・飼糧の配合等結構重労働でスタッフの指導も含め大変であると思えました。年間通して養鶏をするには鳥の健康管理・獣からの対策と細かいことがいろいろあることから基本的なことも勉強しなければいけないと感じました。

ケンちゃん・岩崎さん・よし子さん・由美さん・・・いろいろお世話になりました。時にはめんどくさいこともありましたが楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。また、初めての訪問で3日間あまり役に立たなかったと思えますが、スタッフの皆さんに大変お世話になり感謝しております。北杜市は、日本一日照時間の長いところ、皆さんにとっても日本一明るい棲家となってください。



花見夕食会

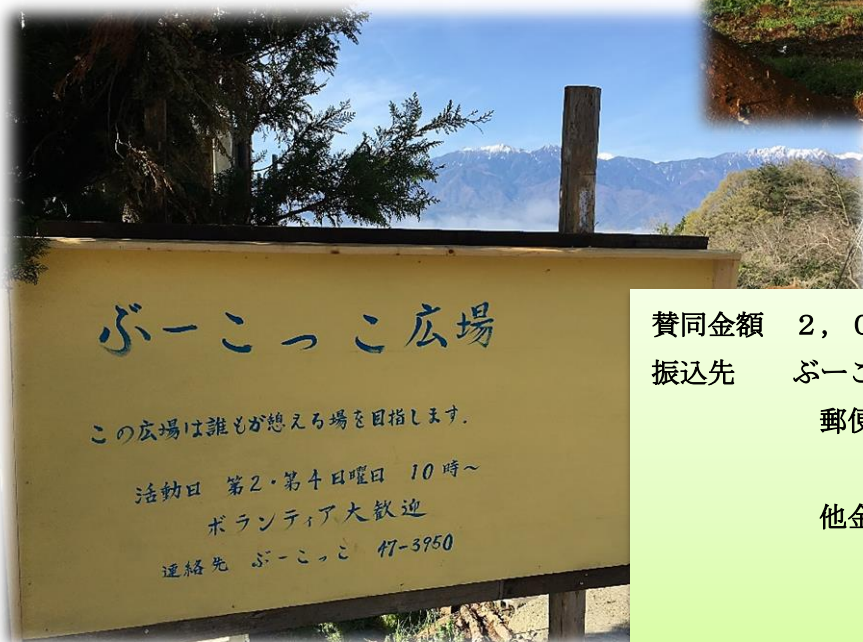
ぶーこっこ広場の今

岡本 隆光

ぶーこっこ広場を作ろう、と具体的に動き出してから早や一年が経ちました。最初は鎌や刈払機で細々と始めて、やがてチェーンソーが加わりました。そしてなんと言っても「ぶーこっこ号」の参加で格段にダイナミックになっていった広場作りです。

今年の3月からは広場の趣旨に賛同して下さったボランティアの人達が延べ32人加わって力強く加速していきました。

今ははっきりしているぶーこっこ広場の予定地では、ほぼ雑木を切り倒し、その根っこを掘り起こし、大きな穴の中で枝など燃やせるものは燃やしました。今あるのは穴を掘った土で出来た山(あさひ富士??)がポツンとそびえています。でもこれでやっとスタート地点に立ったのかな?これからは広場の大きなレイアウトを作り、広場に植える花木、果樹などの選定をしていきます。(植樹祭なんてのもいいですね!)皆様の色々なアイデアをお待ちしています。



賛同金額 2,000円(1口)

振込先 ぶーこっこ広場基金

郵便振替口座

00250-7-102885

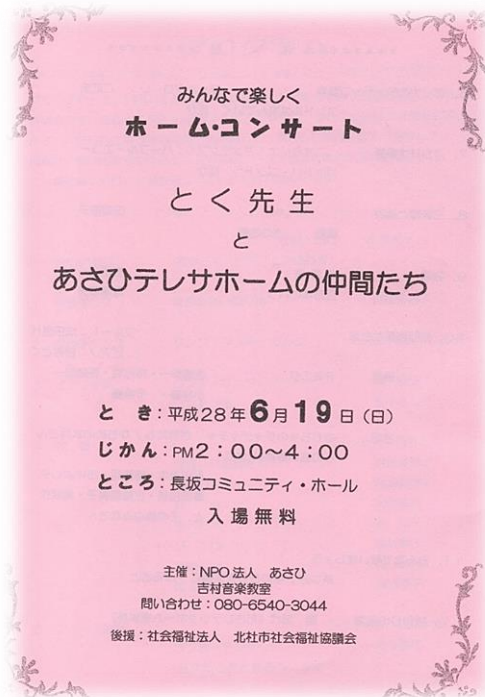
他金融機関からの振込用口座

〇二九(ゼロニキュウ)店(029)

当座 0102885

とく先生とあさひテレサホームの仲間たち

2年ぶりとなりますこのホームコンサートがやってきました。今回は会場を変えて、長坂コミュニティー・ステーションのコミュニティホールにて開催の運びとなり、準備と練習に盛り上がっております。ぜひともご都合がつくようでしたらお立ち寄りください。



あさひの八重桜

長坂コミュニティー・ステーション
〒408-0021 山梨県北杜市長坂町
長坂上条 2575-19
電話 0551-32-8228

退職及び新任スタッフのご紹介

☆古川 卓 2016年1月28日 あさひテレサホーム退職
本業の画家に専念することになりました！



☆尾島 康敬
2016年2月より あさひテレサホーム世話人（宿直）新任

特定非営利活動法人あさひ

あさひテレサホーム

〒408-0002 山梨県北杜市高根町村山北割 86-6

<http://www.asahi-teresa.com>

TEL 0551-47-3950 FAX 0551-47-4414

asahi-fukushi@cd.wakwak.com

賛助会費・寄付金等 ★郵便局振込★ 00220-1- 98254

編集者：中山 正博